

才

ヒ®

ニ

才

ン

O  
P  
I  
N  
I  
O  
N

## 経済環境の変わる時にこそ組織を活用してチャレンジ



山梨県事務機文具商協同組合 理事長 小林 茂樹氏  
株式会社小林事務機 代表取締役社長

山梨県事務機文具商協同組合（小林茂樹理事長組合員16社）の組合員は、文房具用品からOA機器の販売、官公庁等への事務用品納入、中小企業のオフィス環境の整備提案を積極的に行っています。

これまで組合では、新入学期や年度始めの需要期にあわせた『のぼり』の共同購入、「文具の日」キャンペーン事業、「文具券」の発行による消費拡大の取り組みなども行ってきました。しかし、デジタル化や流通経路の変革で、組合員は小売中心から事業所への納入事業へと業態を大きく変化せざるをえませんでした。更に、2010年に政府が入札の「競り下げ方式」導入を決めたことで、組合員を取り巻く経済環境は一層厳しい状況となりました。そこで全国各地の組合が中央会等の協力を得て力をあわせて国への陳情などを積極的に働きかけた結果、文具事務用品の官公需調達や中

央一括購入等が見直されることになりました。

急速に進むデジタル化、大型店・量販店との価格競争、経営者の高齢化による廃業等により中小・小規模の事業者が減っています。そこで、組合組織を取引先や組合員にも再認識してもらうため、組合名と組合員企業名の入った大型カレンダーを作成し、組合員が直接、取引先に配布に伺いました。遠くからもよく見えて書き込みもできるとお客さんからも好評でしたので、今年は数量を増やしたいと計画しています。また、文具を通して子供達に書く楽しみを伝えるために他業界と連携してキャンペーン事業を行うなど、業界を積極的にPRしています。

コロナ禍を含め経営環境の厳しい時こそ原点にもどり、お客様のニーズにあった商品提案、個企業では難しい展示会の実施や他の業界と連携した事業展開など、組合の組織力を最大限に発揮してこれからもいろいろなチャレンジをしていきたいと思えます。

